



梅光

題字は初代院長 広津藤吉先生

第52号

2020年(令和2年)6月5日発行

梅光学院同窓会

〒750-8511 下関市向洋町1-1-1

TEL/FAX 083-227-1111

編集発行人 片山 宣子

同窓会 E-mail jimukyoku@baiko-dousoukai.jp

<http://baiko-dousoukai.jp/>

印刷 (株) 三和印刷社

〒752-0927 下関市長府扇町9-1

大学

北館跡地

新館クロスライト (左)

右奥の高い建物はステージ

ス寮



中高

新型コロナ拡大のため生

徒は休校

ツツジが春を告げています

〈同窓会事務局開室〉

毎週火・金 13:00 ~ 16:00

TEL 083-227-1111

E-mail jimukyoku@baiko-dousoukai.jp

ホームページ

梅光学院同窓会

PC. スマートフォン対応

みことば(32) 中島 共生 … 2

緊急のお知らせ …… 3

令和2年度 梅光学院同窓会会長選挙延期のお知らせ

第20回メモリアルデー本年度開催中止

会長挨拶 片山 宣子 … 4

第19回梅光メモリアルデイ

梶間真壽美 … 5

信頼(遺稿集より) 河田 哲… 6

卒業生は現在 …… 8

第35回ソフトボール部OG会報告 …13

支部だより ……14

同期会だより ……19

2019年度同総会報告 ……21



「みことば」

〈32〉

中島 共生

(日本福音ルーテル下関教会 牧師)

みことばに重ねてゆく希望

ヨハネによる福音書11章21節―27節



21 マルタはイエスに言った、「主よ、もしあなたがここにいて下さったなら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょうに。」

22 しかし、あなたがどんなことをお願いになつても、神はかなえて下さることを、わたしは今でも存じています。」

23 イエスはマルタに言われた「あなたの兄弟はよみがえるであろう。」24 マルタは言った、「終わりの日のよみが

えりの時よみがえることは、存じています」。

25 イエスは彼女に言われた「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとひ死んでも生きる。」

26 また、生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない。あなたは、これを信じるか」。

27 マルタはイエスに言った、「主よ、信じます。あなたがこの世にきたるべきキリスト、神の御子であると信じております」。

「主よ、もしここにいてくださいましたら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。」これは、マルタという女性の言葉です。私たちは言葉と表現は違つたとしても、何度この声を一生涯のうちに聞いてゆくでしょうか。世界中でどれほど、今この時、この声が聞こえてくるでしょうか。『もしここにいてくださいましたら、死ななかつたでしょうに。』

聖書は死という絶望の壁に出会つてなお、希望を語ります。今は希

望と言うと、たとえば第一希望、第二希望、といったように自分の願いや望みに軸足を置いて動いてゆく言葉ですから、皆さまざまそれぞれ、思い思いの希望があるのだと思います。けれど聖書にはマルタのように独特の希望の理解があります。それがキリスト者を作り、信仰の核を形成してゆきました。このマルタの出会つた希望の姿を深く見つめ、自らの心を重ねてみることで、苦難と希望の意味を見つめ直し、聖書の語る希望へと思いを巡らせたいと思います。

マルタとマリア、この姉妹にはラザロという兄弟がいました。ラザロは病気になる亡くなります。イエス様はそこに居合わせておりませんでした。死後3日間は肉体の周りに靈魂があると考えられていましたから、その考えに照らすと、4日目は靈魂が肉体を離れて旅立つときです。もうどんな力も及ばない領域にある、ラザロは完全に死んだ者となつたのだとマルタは理解します。ですから、イエス様が4日目においでになつたというのはマルタにとっては遅すぎたのです。マルタの持つていた一縷の望み、『このかたなら…』という希望は消え失せました。けれども聖書は、空っぽになつた時初めて出会う希望について証しをしています。

ラザロは確かに死んだのです。しかしマルタは言います。「あなたが神にお願いになるこ





とは何でも神はかなえてくださると、わたしは今でも承知しています。」イエス様に対してマルタはこの時から、心を砕いて、耳を傾ける、そういった姿勢が生まれてきます。自分が失望した、裏切られた、遅すぎたと思った、それを結論とする信仰とはどこかが違います。ラザロが亡くなり、マルタの判断ではイエス様のおいでのなるには遅すぎたと思つたにも関わらず、ここからマルタの内には自分の全て、持っている希望も、残された絶望も全てを委ねる信仰が芽生えてゆきます。それが「はい、主よ、あなたが世に來られるはずの神の子、メシアであるとわたしは信じております。」この言葉に表されているのではないのでしょうか。私たちは何を期待してみことばに耳を傾け、みことばに希望を見出すでしょうか。マルタが出会った希望は、自分の希望通りに叶えられたら希望と呼んだり、自分が信じた通りになったら信仰と呼ぶのとは真逆の視点です。私たちが神の言葉をどう聞き、どう利用するのかわかりませんが、みことばの方から歩み寄ってきて、自分の価値観、自分の実存が揺さぶられ、転換が起こってゆく、そういう希望です。そしてそこには苦難も絶望も、すべて織り込み済みの希望があります。自分の持っている全て、何も無くなった空っぽの自分の全てを神さまの希望の上に重ねてゆく。それがマルタの出会った希望でした。

私たちは今、困難な時を歩んでいます。しかしこの困難の真ん中に、キリストの希望を重ねてゆきたいのです。失われることも、奪い去られることもないキリストの希望を私たちの希望としたいのです。梅光学院で学ばれる学生・生徒一人ひとり、心を砕いて働いておられる教職員の皆さま、祈りと思いを向けておられるOB・OGの皆さまが主の希望と共に歩んでゆくことがかないますように。祈っています。

令和2年度 梅光学院同窓会 会長選挙延期のお知らせ

新緑の美しい気持ちのよい季節となって参りました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様ご家庭や職場で不安や不自由の中お過ごしのこととお察しいたします。

さて、「梅光学院同窓会選挙規約」により本年度は同窓会会長の選挙の年になります。しかし、新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言発令のため、残念ながら同窓会総会は中止となりました。そのため、今回の会長選挙を下記の通り変更いたします。

記

- 1 「梅光学院同窓会会長選挙」は来年度の同窓会総会に延期する。
- 2 非常事態のため、現会長 片山 宣子の任期を次の選挙まで延長する。

※ご意見、ご質問などございましたら、同窓会事務局までご連絡ください。

選挙管理委員 秋 山 和 代

緊急のお知らせ

会誌51号でお知らせ致しました令和2年度の同窓会総会・懇親会（6月20日実施予定）と、7月4日に予定していた第20回メモリアルデイを今年度は中止いたします。

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態を受けての決定です。

今年度の総会は、会長選挙の年でした。又、総会で新年度の予算・行事の承認を得ることが必要です。大事な総会で、当番幹事も早くから会議を重ね、懇親会を準備して下さっていましたが、先行きの見えない中、2か月前に決断を出す必要がありました。

役員会・各支部長さんに意見を伺い、次の件を承諾して頂きました。

1. 会長選挙が出来ないので、会則の2年任期ではなく、例外として現会長がもう一年会長を続ける。
2. 令和1年度の決算・行事報告及び令和2年度の予算については、役員会と各支部長の承認を受けることで総会に替える。行事については例年に準じたものとする。
3. 8月発行の予定であった会誌52号の発行を出来るだけ早め、総会実施予定日の6月20日を目指す。

以上の承諾を受け会誌発行のため、急ぎ準備いたしました。52号会誌は、例年に比べても準備不足もあるかと思いますが、どうぞ、お許しいただきたくお願い申し上げます。



会長挨拶

会長 片山 宣子



「皆様、お元気ですか」

5月の山々は毎日に大きくなり、さまざまな緑の色が濃く変わっていく様に自然の生命力を強く感じます。皆様お元気にお過ごしでしょうか？

新型コロナウイルスによる社会生活の大きな変化と自粛要請による生活の変化で、誰しもストレスにさらされていると思います。コロナ後の社会も私たちにとって未知の部分が多くなる社会のような気がします。自分が新しい社会にうまく適応できるだろうかと不安を感じることもあります。

希望を感じ、期待を抱くこともあります。テレワークが拡がり、教育界もネット配信による授業が始まっています。科学の進歩が社会を支え変化を生み出す姿を、今まさに目の当たりにしているのです。

また、困難の中変わらず社会を支えている人々の姿も明確になっていきます。(エッセンシャルワーカー)となんと耳障りの良い表現が使われているのにはざわつく思いもあります。今のように困った時だけでなく、人々の地道な働きに感謝し、尊敬する心をコロナ後も持ち続けたいと思います。

社会全体が、それぞれの肢体は優劣のない目であり、耳であり、手であり、一つの体を作っているものでありと認め合う社会であってほしいと願います。新型コロナに罹患した人も私だし、思いがけず亡くなった人も私だし、知らぬ間に人に感染させる人も私であつても何の不思議もありません。今現在、健康でいることは

恵みであるとしか言いようがないと思うのです。だから身近に平和を創り出す人でありたいと願います。「光の子」として歩くことに感謝です。

若い人たちが、例えばITの技術を生かして人々に無償で繋がるアプリを提供する姿、自粛生活で落ち込む経済の中でアイデアを出して乗り切ろうと努力する姿、スポーツ選手やアーティストが今できる自分の役目を考え、発信する姿を見ると私は明るい希望を感じます。

さて、梅光学院では、中高では授業配信が行われていますし、大学でも始まるかと聞いています。保護者から安堵の声を聞くことがあります。これは嬉しいことです。

大学生八十人ばかりが3月半ばにマレーシア留学に行き、予定の授業が受けられない(配信という手段はとられているようですが)ということはあるようです。また、大学の図書館工

事や北館跡地の工事も停止した状態です。授業再開と工事再開が重なってしまうかもしれません。

コロナウイルスという突如のことで、学院長先生や教職員の方々は対処にご苦労が続いておられる様子ですが、同窓会にも影響がありました。

毎年3月は新会員の入会式を行い、新会員をお迎えするので、今年の入会式ができませんでした。

中高は卒業生に手紙を渡していた対応しましたが、大学は学院長先生のご提案で、教育システムを使った配信で知らせるといふことになりました。しかし応答がはかばかしくありませんでした。再度の配信もできないという状況で、入会手続きが未だ終了できていません。大変申し訳なく思いますがこれから善処に向いて努力いたします。次の総会でお知らせします。

新会員入会については、会費徴収の問題点もあります。大学では20年度4年生までは学院の代理徴収が続

きますが、中高は現3年生から、会費徴収を卒業時に同窓会がしなければなりません。他の学校の会費徴収の実態を調べてみました。代理徴収の積み立て形式という従来の梅光のスタイルをとるところは少ないとわかりました。これも今年度の大きな課題です。在校生に同窓会の存在をアピールすることが必要です。

学院長先生と協議を重ね、協力をお願いしなければなりません。

しかしながら毎月の定例役員会には、学院からの出席はもう一年以上ありません。

評議委員に同窓会推薦者を入れていただくこと、メモリアルデーの学院施設での実施の要望を提出しましたが、理事長・学院長両先生から今はその予定はないと断れました。学院施設は工事中の為に使えないし、中高は貸し出しをしていないというお返事でした。新館は貸し出し規定があると聞くので、それを教えていただくようお願いして



いるところですが。役員会へのご参加をお願いしましたが、今は同窓会役員会への出席の必要はないと考えているとお返事でした。

この新型コロナ騒ぎの中、私は会長として本当に残念でなりません。今、生徒や

学生の中に支援が必要な人があるのではないかと。同窓会は、こんな時こそ支援の働きをしなければならぬのではないかと。そういう協力体制が持てない現状をどうすれば打破できるのか。4年間、何の変化も生み出せないのは「私たちに協力

しないあなたは信用できない」と言われた私が会長だからか。時の経過の中で歩み寄るのは幻想か等々。様々に考えます。

学院と無関係に同窓会が存在することはあり得ないと思えますし、同窓生と無関係な学院もないと思いま

す。自分が卒業した梅光が素晴らしい青春の場であり、誇りであるという思いが同窓会の原点であると信じていますし、学院が良き教育の場であり続けることが同窓生一人ひとりの願いだと信じています。困難な局面は続きますが、皆様のお支

えをお願いしてご挨拶いたします。

来年の総会は無事に開催されますように。皆様の平安を願っております。

第十九回梅光メモリアルデー

梅光女学院に感謝して

梶 間 眞壽美 (高7)



の中で友人と共に、梅光を受験しました。

私が梅光女学院中学校に入学したのは70年前、昭和24年です。22年に日本国憲法が施行され、「六・三・三制」の新学制も発足し、時代は戦後復興へ向いはじめていました。「自由な新しい日本になる……」という雰囲気

の院長はV・M・マッケンジー先生、高等学校長は広津信二郎先生、中学校長は佐藤泰正先生でした。梅光も戦後の復興をめざし学院をあげて懸命の努力をしていました。私が入学したのは東駅校地で、旧陸軍砲廠跡のバラック兵舎が教室でした。中3になると、丸山校地に本館、講堂など新築校舎が完成し真新しい校舎での学びが始まりました。

学院での生活はすべてが興味深く、楽しく、充実した日々でした。

朝の礼拝、聖書、賛美歌、授業、放課後のクラブ活動。先生方のお話、友人との交わりなどすべてがすばらしい体験でした。更に、教会とのつながりが私にとって貴重なことでした。中2のクラス担任松本(今田)尚子先生につれられて下関教会の礼拝に参加し、小幡慶助牧師と教会の方々の交わりの中に入れていただきました。これらの梅光の生活の中で今の私の土台がつくられたと思っています。

4年間の大学の学びを終え、昭和34年、中高の社会科教師として着任しました。中高の生徒数は年々増加し学院は発展、隆盛期を迎えていました。マッケンジー先生のあと、5代目学院長をつがれた広津信二郎先生は歴代院長に受け継がれてきた梅光の基本理念「キリスト教信仰にもとづく人格教育」の実現と教育内容の充実をめざし、教員の質の

向上と、その先に大学設立もみすえ、先生方の国内外の留学制度を実施されました。昭和32年に佐藤泰正先生(早大)、つづいて中野勇先生(立教大)、岡山好江先生(東神大)、滝本哲也先生、宮野光男先生、上本義男先生など多数の先生方が研修に出られました。

私はこうした時期に教師集団に加えていただきました。「社会科」では高野毅先生、滝本哲也先生に、恩師でもあり、職場での指導者としてもお世話になりました。「校務」では、上本義男先生、中野勇先生、いつもお二人の背中をみて動いていま



平成9年(1997)、60才、停年退職しました。私は退職の挨拶状に次のように書きました。

「……在職中のご芳情誠に忝なく微力ながら梅光女学院百二十五年の歩みの中に関わることがで

き、心から感謝いたしております。……」
私の生涯は梅光と共にあ

りました。生徒として、教師として、同窓生として。梅光女学院に連なることで、今の私があります。学院を

支えてこられた歴代院長先生、諸先生方、多くの友人の皆様には心から感謝します。

第20回梅光メモリアルデイに代えて

信 頼

空の鳥を見るがよい。まくことも、刈ることもせず、倉に取り入れることもしない。それなのに、あなたがたの天の父は彼らを養って置いて下さる。

(マタイ六章 26〜33)



河田 哲

(元梅光女学院中学校校長
元梅光女学院高等学校校長)

皆さんは、本館正面にステンドグラスが入ったことはよく御存知ですね。

短期大学に新しく図書館が出来、そこに二面のステンドグラスが入ることになりましたとき、梅光の中学、高等学校にもステンドグラスを入れるということになりました。

ステンドグラスには、普通のガラスと違って絵が入ります。どのような主題の絵を入れるかということになりまして、宗教関係の先生方と相談を致しました。最初に定まったのは、「良き羊飼」という絵でした。イエス様は聖書の中でしばしばご自分を指して、私は良い羊飼であると、おっしゃっておられます。そして、人々を羊に譬えておられるのです。勿論、そこに

あります。どのような主題の絵を入れるかということになりまして、宗教関係の先生方と相談を致しました。最初に定まったのは、「良き羊飼」という絵でした。イエス様は聖書の中でしばしばご自分を指して、私は良い羊飼であると、おっしゃっておられます。そして、人々を羊に譬えておられるのです。勿論、そこに

自分の子をイエスにあずかりました。生徒として、教師として、同窓生として。梅光女学院に連なることで、今の私があります。学院を



本館正面 ステンドグラス

け安心しきった親の信頼の姿。
一人一人の生徒をイエスの御手にあずけることによつて、安心してすべてをまかせる私ども教師の姿を想像して、これで善しと私は思ったのです。何故ならば、「私は植え、アポロは水を注いだ。しかし、育て給うのは神である。」とのパウロの言葉を思うからであります。

ところが、実際には、よき羊飼の絵は入りませんでした。そのかわりに「空の鳥、野の花」という、マタイの六章に出で来る、イエスの言葉の絵が入りました。

ところが、実際には、よき羊飼の絵は入りませんでした。そのかわりに「空の鳥、野の花」という、マタイの六章に出で来る、イエスの言葉の絵が入りました。

この話は、一部この三月の高等学校の卒業式で、私がお話をしたことと重なりますが、私は、ステンドグラスの絵の主題が変わったと聞かされたとき、キエル



ケゴールという哲学者の言った言葉を思い出しました。「『空の鳥を見よ』とイエスが言われた時、私たちは、そこで立ち止って本当に空の鳥に目をやらねばならない。『野の花を見よ』とイエスが言われたとき、私たちは、その先を読み、聞くことをしばし止めて、本当に野の花に目をやらねばならない。」と。

私の家のまわりの庭にも、今つつじが花盛りです。鳥も飛んできます。今迄とは又違った気持ちで鳥を見花を見ます。

日本には「花より団子」という言葉があります。お花見と称して、お花を見るより飲んだり食べたりすることが中心になっている人々をみかけます。それも楽しいことでしょうか、どうでしょう、静かにじっと花を見て下さい。「野の花がどうして育っているか、考えて見るがよい。働きもせず紡ぎもしない。しかし、あなたがたに言うが、栄華をきわめた時のソロモンでさえ、この花の一つほどに

も着飾ってはいなかった。きょうは生えていて、あす炬に投げ入れられる野の花でさえ、神はこのように装って下さるのなら、あなたがたに、それ以上よくしてくださらないはずがあるだろうか……」

その少し前の節には「空の鳥を見るがよい。まくことも刈ることもせず倉に取り入れることもしない。それだのあなたにたの天の父は彼らを養って下さる」とあります。正面玄関のあの図柄では「空の鳥」は天使の姿に変えられて中央部分にあります。向って右上から左下に流れる光は神のことば聖書のことばです。そして下面には野の花が咲いて見えます。今度暇な時ゆっくり見て下さい。

学校教育にとつて、もっとも大切なことは、「信頼」ということです。生徒は教師を信頼し、教師も生徒を信頼するということです。そこで初めて教育が行われるのです。少々むづかしいことを申します。キエルケゴールは、「私が本当にあな

たを信じていることができるのは、それは神様をイエス・キリストを信じているからである」というのです。神様は、イエスは、真実な方である。その方が私を信じよといわれるとき、私は神を、イエスを信じ、それによつて他の人も信じるというのです。シュバイツァーという、ほんとに神と人々のためにつくした偉い先生がおられました。ノーベル平和賞を貰われた方です。その先生は申されます。「今日の悲惨からのがれる唯一の方法は、人々がお互の信頼に値するものとなることである。」と。他人の信頼に



遺稿集 『むねあかどり』

—主に生かされて—
一三二〜一三四頁より
(一九九五年五月発行)

2019年度(2020年3月迄に)お知らせのあったご逝去者名(37名)

御霊の上に、そしてご遺族の上に神様のお慰めのありますように。

旧職	赤瀬光信	2018.7.13	高3	吉村春美	2019.8
旧職	宮野正世	2017.11.6	高5	原田裕子	2019.9.4
梅17	石野雪野(本間)	1995.1.13	高5	大村延子(吉尾)	2019.3.10
梅24	百崎良子(浅田)	2019.9.23	高5	門杉幾代子(恩地)	2018.10.3
梅25	小林品子(宮永)	2019.4.25	高6	辰野雅子	2018
梅25	名古屋孝子(津崎)	2018	高6	重村浩子(岡本)	2019.1.19
梅25	甲斐恵美子(千田)	2019.7.9	高10	大塚延子(後藤)	2019.11
梅25	廣瀬セイ子(篠田)	2019.3.3	高12	藤野登代子(田村)	2018.12.27
梅25	畔津和江(有宗)	2019	高13	加糖美智子(登山)	逝去日不明
梅27	河村千代(松永)	2019.5	高13	藤本節子(宮崎)	2018.8.
梅28	須藤久子(杉浦)	2019.3	高13	大森サヨ子(明石)	逝去日不明
梅29	篠崎芳恵(佐々部)	2019.3.20	高14	吉富妙子(岸)	2019.12
梅30	秋本昭代	2018	高14	岩田千嘉子	逝去日不明
梅31	英玉得(福岡)	2019.5.31	高17	中丸孝子(豊永)	2019.2.16
梅31	伊藤耐子	逝去日不明	高22	村尾一世(三井)	2019.8.3
梅31B	石松豊美	2019.6.30	高25	豊福知津恵(藤本)	2019.8.27
梅31B	武久禮子	2019.9.18	短日21	田中志保	2018.7.13
梅35	小田和子(竹中)	2019.2.14	短英31	井上佳子	2014
高1	山本イセ子	2019.11.18	高6	後藤久美子	2020.1.20

ふさわしい人になるために、自分も本当に神を信じ、人を信じていることのできる人間 になります。 思います。
(一九八五年五月 中学)



卒業生は現在いま

大先輩「木暮実千代」
姉と楽しく劇を…

木暮実千代の会

大澤(高橋)宣子
(高12)

木暮実千代生誕百年記念劇「オトン」の第2弾「毎日が本番」に舞台女優として初挑戦をしました。自分でない人間即ち物語の人物に成り切り身振りやセリフに感情を入れ演技をするハードな演劇の稽古は大変でした。公民館他での夜10時迄ある特訓は驚きでしたが、初舞台、女優への挑戦の達成感は一〇〇パーセント満足でした。いよつ大女優！と声(ヤジ?)を掛けられ晴れやかな思いで舞台を降りました。これもあの特訓のおかげでしょうか。本物の役者さんはもともとと激しく厳しく練習をされているのだろうと頭



毎日が本番 木暮実千代「唐戸交番」物語 2019.6.19 於下関市民会館中ホール

が下がります。

木暮実千代先輩の人柄は映画・テレビで皆さまご存じのことでしょう。この「毎日が本番」のストーリーも帰関の折、下関警察署唐戸駐在所前でおまわりさんに声を掛けられ気さくに所内に入って数人の方達と楽しいひと時を過ごされた実話です。

私は酔っ払い男の妻役で出演しました。木暮さんと劇中の会話で「今日は何

だかいいご縁のようね」と優しく見つめられ声を掛けられるシーンは感動！でした。あの先輩と親しく会話が出来たことが嬉しくつて…。この演劇出演の経験として深く心に刻んで置きたいと思つたものです。

このように大女優スター梅光の大先輩「木暮実千代」姉は誰にでも優しく慈愛に満ちた方で、生涯福祉に力を注いで一生を終えられたことは私達への大きなメッセージです。色紙に書かれた「毎日が本番」いい言葉ですね。私もこれから毎日を真摯に一生懸命生きて行こうと改めて胸に誓つております。

古文書と出会えて

中村 陸 美
(高33)

丸山の中高の六年間は

ゆつたりした時間を過ごしました。卒業して、梅光女

学院大学の短期大学部(日文)に進学し、佐藤泰正先生の「大学は大いに学ぶところ」です。大いに学んでくださいの言葉通り、豊富な講師陣の下、東駅キャンパスで自由に学ぶことの楽しさに出会いました。その頃、図書館学は梅ヶ峠キャンパスで月曜日に開講されていたので、大学編入後の学生生活も違和感なく、勉強するしかなかった環境は今から思うと得難い時間でした。梅ヶ峠では単位取得に追われましたが、でも楽しく過ごせました。

卒業後、ふとしたことから地域文化研究所に接する機会があり、地域文化研究所の活動や國分直一先生をはじめとする文学とは違った魅力ある先生方、財津永次先生、利岡俊昭先生と古文書に出会うことが出来ました。特に利岡先生には基礎から古文書の勉強を教えてくださいいただきました。

梅大で一般に向けて開講されていたアルス梅光は、文学だけでなく多様な講座があって、自由に学ぶ活気

があふれていました。その中の利岡先生の古文書講座を最後まで受講し、現在は山口県文書館の古文書講座を受講しています。

古文書は身近なところにもあるのだけれど、読めないことから埋もれてしまいがちで、うっかりすると遺棄されてしまいます。今、残っているということには意味があるのだから、どうか遺棄する前に立ち止まってください。なにげないものの中に、地域の歴史が詰まっている可能性があります。その歴史は、あなたのルーツに繋がっているものなのかも知れません。判読できないことで埋もれている歴史を、読み解くことで紐解いたら素晴らしいことだと思えます。まだまだ「日暮れて道遠し」の感が否めませんが、そういう発掘の一助となれたらと思つています。

現在、下関では地域に根ざした古文書講座が見当りません。アルス梅光の復活が待たれるところでもあります。



私は古文書を読めるようになることを目指していません。でも何か課題がないと取り組まないのが、私の課題だと自覚もしています。まだまだ課題をこなす古文書講座を受講する必要があります。と思っています。山口県文書館で古文書講座を受講していますが、出来るならば下関でも古文書講座を受講したいと願っています。ともかく古文書の勉強はライフワークとして、これからも続けていこうと決意しています。梅光で古文書と出会えた私は幸せだと思っています。

梅光女学院への感謝

田附(陣内) 範奈
(高42)

私は、高校3年生の時に宇部高校から転校してきました。高校2年生の時、バイオリンで音楽大学を目指すことを決めたのですが、梅光女学院の方が、より良

い必要な音大への学びが出来るという理由から転校しました。お陰様で梅光を卒業後、京都の同志社女子大学音楽科に無事進学しました。

私が梅光で得たものは、まさに神様からの愛でした。私の父は牧師で、実家は教会でした。宇部の地元では、学校の先生も友達もみんな私が教会の子供であることを知っていたのですが、私自身はクリスチャンであることを、どこかみんなに感じさせないように学校生活をしていました。

しかし梅光に行った時、初めて学校で多くのクリスチャンの友達や先生と出会い、そのままの牧師の子供である私を、喜び受け入れてもらえたと感じる事ができました。片山先生のクラスに転入し本当に温かく受け入れてくださり、最初不安だった私が嘘のように、楽しい転校生活を送る事ができました。また同じ転校生にも牧師の子供がいて、とても嬉しかったことを覚えています。学校では

聖書の授業時間があり、礼拝があり、オルガンで賛美歌を歌い、感動的な伝統あるクリスマス礼拝でハレルヤコーラスを歌い、素直にクリスチャンである自分に誇りを持つ事ができ、貴重な高校生活の最後の1年間を過ごすことができました。特に、同じ牧師の子供であり音楽科の先生であった橋本るつ子先生には、毎日のように音大受験のために特訓レッスンを受け、本当にお世話になりました。

その後進んだ同志社女子大学の学生生活でも、橋本先生に紹介していただいた教会に通いました。梅光の1年のおかげで私の中に眠らせていた信仰が目覚め、堂々と行いに現すこともでき、教会生活やボランティア活動を心から楽しむことができました。

また音楽に対する姿勢も、牧師の子供である自分に誇りを持って、弱い自分をありのままに受け入れ謙虚に学ぶ事ができました。また、今まで続いている音楽活動、信仰生活も梅光での経験が

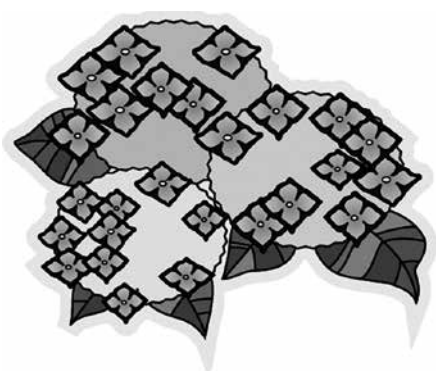
土台となっています。全ては主のために用いられたいと生きる道標となっています。

今、私は約20年間口サンゼルスに住み、音楽活動をしながら2人の子育てをしています。毎週、家族で日本語の教会に通い、平日には週に一度留学生たちを食事へ招き、ついでにバイブルスタディをしてシェアリングの時間を楽しんでいます。日本からの留学生のホームステイ受け入れなどもしています。この交わりの中から8人の若者が洗礼を受けるといふ奇跡が今も続いています。私がこのように事を喜んでできるのは、今まで私が受けてきた、神様からの多くの恵みを、ただただ、人にも伝えたい、主にお返ししたい、という感謝の気持ちがあるからです。特に子育てにおいては、私に与えられた信仰、家族、音楽、教育、というギフトを、しっかりと子供たちに受け継がせたいという思いを、主に祈りながら日々を感謝しながら過ごしています。私

今まで、いろいろな道を歩ませられ生かされていることは、ただただ神様からの愛であり、恵みであり、また私が多くの人に出会い、愛されていることは、まぢがいたく素晴らしい喜びだと確信するからです。

今思うと、高校3年生の梅光への転校は、私にとつて、まさに、私のために「必ず良いことをして下さる」主の計画であったのだと確信しています。

これからも梅光での原点を忘れずに、すべての働きにおいて、主に用いられていきたいと思えます。感謝です。 Blessing!





目にはみえない 音楽の力

安氏 洋子
(高47)



大学で教鞭を執るようになり、早くも10年以上経とうとしています。現在私は2年前に開学した長野県立大学に勤務し、音楽関連の授業やピアノのレッスンを担当しております。長野県立大学が開学する前は、福岡女学院大学で教鞭を執っていたため、まさか自分には縁のない長野県に移住するとは思ってもみませんでした。人生何が待ち受けているのか予想もつきませんが、色々な方とのめぐり逢いや一つひとつの機会を大切にしよう心がけていま

す。

私の専門はピアノ演奏なのですが、大学で教えるようになり音楽教育学についても研究を重ね、論文や書籍の執筆などにも携わらせていただいております。時に高校生への出張授業や、教育者の方々、子育て中の保護者の方々への公開講座を行ったりさせていただくこともあります。

保育・教育者を養成する大学の音楽表現の授業では、まず学生に「聴く」力を育むことから始めています。現代社会は音の洪水の中にあるといっても過言ではありません。テレビをつければそこから止まらない音が流れだし、音楽好きな学生たちは常にイヤフォンによる爆音の攻撃に遭っています。

作曲家である武満徹は「世の中は音楽の垂れ流しで、それが私たちの耳の感受性を鈍くしている^①。」という言葉を残しています。自然の中には様々な音が存在しているため、普段は気にも止めない音に耳を澄まし浄

化する活動を授業の中で取り入れ、音や音楽を意思を持って聴き、耳に入れる音を自ら選択することからスタートします。

また同じく作曲家である西村朗は「質感」を聴くとは、ただ単に響きを「聴く」ということにとどまらず、響きの匂いを「嗅ぎ」、響きを「味わい」、響きの光輝を「見つめ」、響きに「触れる」という、五感統合的な感覚であったのではないかと思えます^②。」と述べています。

この言葉のように、五感の全てで質感を感じ取り、共感覚のように感覚機能をリンクさせることは、表現過程においてとても大切です。目にはみえない音、静



演奏

けさ、匂い、感触、その空間に広がる「間」、それらを感覚機能を相互に作用させながら創造性を育めるよう、課題づくりを心掛けています。

音楽やピアノの授業といえば、まず音符の読み方を理解することが基本にあります。もちろん不可欠ではありますが、音符という記号を並べるだけでは音楽にはなりません。その音符から作曲家の意図を読み取り、音符と音符を繋いでいくことと、その音符に自分の想いを重ねることで音に命が吹き込まれ音楽になり得るのだと思います。それはこれから先どんなに科学技術が進歩しようとも、人間の創造性による唯一無二の表現です。だからこそ人の手により生み出される芸術は尊いものなのだと思います。音楽は目にはみえないものですが、人はそこから紡ぎだされるメロディ、リズム、情動、生命の躍動に心を動かされます。言葉で表現することの難しいクオリアを、豊かな感性で捉え、アウト

プットできる学生を育てていくことが目標です。この音楽や芸術のように「目にはみえないもの」を感じることは、聖書や祈りにも通じるのではないでしょう。

私は梅光を卒業後、進学した国立音楽大学ではただひたすら音楽の世界に没頭し、さらに研究を深めるために進んだ大学院でしたが、そこでは厳しさと壁にぶち当たり、結果手と体調を崩しピアノに対する気持ちがあたふと心にも蘇った言葉は、中ふと心に蘇った言葉は、中学、高校の6年間を通して毎朝の礼拝の中で心に刻まれた「神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。」(コリントの信徒への手紙一10・13)という一節でした。その言葉を信じ祈り続けることで、途切れかけた気持ちも少しづつ戻ってくるような感覚を覚えました。6年間のキリ



スト教育を通して、自分の考え方の根幹が築かれたことを、年齢を重ねることに強く実感しています。その教えはいつも新鮮に蘇り、今も私の心の支えとなっています。

目にはみえない時間芸術としての音楽に、私は昔も今も魅了され続けています。音楽を自分自身表現し続けること、そして後進に音楽の魅力を丁寧に伝え感性を育んでいくことが、今の私



公開講座

ができたことは、今の自分を形づくるかけがえのない宝物であると感じています。自分に与えていただいたことと、育てていただいたこと、今後は次世代を担う学生たちに少しでも還元できればと願っています。

今現在、新型コロナウイルス感染症により全世界が不安の中にあります。みえない恐怖に怯える日々ですが、今こそ目にはみえない音楽と祈りを捧げ、共にこ

の使命だと感じています。そのためには私自身、感性が鈍麻してしまわないよう、いつも和やかな心で感性をフレッシュに保ち続けていきたいと思っています。

個人を尊重してくださる温かい先生方に見守られ、6年間を梅光で過ごすこと

の困難を乗り越え、大切な人と笑顔で再会できるようお祈り申し上げます。

引用文献

- ①武満徹(1996)「時間」の園丁」新潮社、P. 35。
- ②吉永早苗(2014)「幼児期における音感受教育の提言―音・音楽を聴いて『感じる・考える』ということ―」『音楽行動研究』2014、P. 71参照。

「私のシンデレラ城」

吉田 玲
(高72)



3月に卒業したばかりなので、中学高校時代のお話

をしたと思います。もし梅光に入らなかつたら、今の私は存在していないと思います。

私は小さい頃からミュージカルを習っていて、将来の夢はミュージカル女優になることでした。そのため梅光に入学し、ミュージカル部に入りました。

中2の時、ミュージカル部をメインに映画を撮りたいと柴口勲監督に言われて軽いノリで出演しました。それが『隣人のゆくえ』です。

『隣人のゆくえ』は有難いことに沢山の映画館で上映されました。東京、北九州、周南、山口、下関の舞台挨拶に梅光の制服を着て参加。その度に「制服が可愛いね」、「私も梅光の卒業生よ」と声をかけて頂き、私は梅光生であることに誇りを持ってました。

そして高2の5月、柴口監督から、「大林宣彦監督が次の映画に『隣人のゆくえ』の子を使いたいって言うてる。華奢で主役じゃない子らしい。吉田玲じゃないかと思うから確認中」と言わ

れました。数日後、「吉田玲で合ってたよ」と連絡が入り、後日、大林監督と尾道でワッフルを食べることになりました。その日は平日だったので、普通に授業はありました。私は午前中、学校を休んで大林監督に会いに行きました。勉強せずにワッフルを食べる。なんて幸せなんだと思いました。大林監督と1時間程話したあと、私の出演が決まり、夏に撮影が始まりました。映画の撮影はとても楽しく、勉強が苦手だった私は、こんな時間がずっと続けばいいのになと思いました。

とある撮影の日、柴口監督と『隣人のゆくえ』のキャストやスタッフの先輩、それからミュージカルの先生がサプライズで会いに来てくれました。大林監督が「この人たちが君をここに連れてきてくれたんだよ」と言ってくれました。『隣人のゆくえ』がなかったら、大林監督の映画には出られなかったし、梅光に入らなかったら、今の私はいなかったんだなと思いました。



それから約1年後、映画『海辺の映画館―キネマの玉手箱―』が完成し、今は公開を待っています。

高3の時には、憧れだったミュージカル部の部長を務めることになりました。限られた時間の中でミュージカルをやったことない人に基礎を教えるのは、小さい頃から感覚でやってきた私にはとても難しく、歴代の先輩の凄さを感じました。ミュージカル部の部長と映画の撮影―「梅光は私の願いを叶えてくれた場所」だと思っています。

先帝祭もう一度原点に

長田(篠崎)伊久枝
花柳 三吉
(高5)

幕間に聞く
新型コロナと文化

―赤間神宮(下関市)で恒例の「先帝祭」が、今年には本殿祭のみとなりました。三吉さんは、1967

下関舞踊協会特別相談役 花柳三吉さん(85)



はなやぎ・さんきち 1935年、北海道函館市生まれ。37年、日本舞踊「花柳流」入門。父親の転勤で下関市へ移住し55年、名取に。2017~18年、下関舞踊協会会長。19年4月から現職。

年から50年以上、太夫や介添えで参加しています。

「初めて振袖太夫を務めさせていただいたとき、赤間神宮の水野久直宮司(94年87歳で死去)に先帝祭の重さを伺いました。毎年先帝祭を迎えると、時の流れを感じますね。踊りをしていて、先帝祭に出るのが夢の方もあります。今年、お稽古をしていただいた方には、なんとも言いようがありません」
―久直宮司はどんなことを言われましたか。

「8歳にして、海の底に行かれた安徳天皇をすくい上げて、赤間神宮にまつた。その人の霊を慰めるための神事だ」と伺いました。この気持ちが一番大切だと身に染みています」

―本殿祭のみになったことは、どう受け止めていますか。
「私個人としては、もう一度、原点に返れと言われているように思います。先帝祭は下関の華だから『選ばれてする』というのは、少

し違うと思います。私は古い人間かもしれませんが日本舞踊は伝統芸術ですから、立ち振る舞いや言葉遣い、先輩を立てる、という日本の良いものが失われないようにしたいです」

―三吉さんが指導する「みよし会」の10回目の舞台も7月から延期されました。「時間ができたので、みよし会はもう少しレベルの高いものにしてしまうと、毎日の稽古にこだわっています。『今日できなかったら明日』ではなくて、いましないと明日のことは分からないですよ」

―新型コロナウイルス感染症が拡大する今は特にそうですね。

「戦時中、米軍爆撃機B29の空襲にも遭いましたが、その時は敵が見えましたが、今度の分からは怖い怖さは、自分で身を守る以外ないですよ。私は終戦の年に函館で、200人くらいの特攻隊の慰問に行つたんです。17、18歳の方々が白いカッターを着て、黒いズボンをはいて、舞台の踊りを真つ

すぐ見ている。私は当時小學生でしたが、今もその目線が忘れられない。後に新聞記者の方が調べてくれたのですが、その人たちは、沖繩に行つた最後の特攻隊だったそうです。そんな経験をしているので、生きていること、踊りができるとにただ感謝、感謝です。久直宮司に安徳天皇のことを伺った時にも、特攻隊のことをふっと思いました。なぜ踊りをするかということ、その200人がずっと背中を押しているんです」

―芸能分野の方々も苦しい状況が続いています。どんな言葉をかけますか。
「要領よくやろうとしてはいいですね。私は、お弟子さんにも偉そうなことを言うけど、自分も勉強しなきゃいけない。勉強したものを全部出します。私はもう少し勉強したいし、良いものも見たい。真正面から取り組むことが大切ではないかと思えます」
(毎日新聞2020・4・27(月)より転載)



梅花くすしく

権藤 市津代
(旧職) (高13)

新型コロナウイルスの影響が拡大してゆく昨今、梅光の同窓会総会も中止となり、残念でなりません。総会出席の方々に、ささやかな小冊子を差し上げたいと準備してようやく完成というところまで漕ぎつけたところでした。どのような内容か、この場をお借りしてご紹介させていただきます。タイトルは「梅花くすしく」。題字は梶間先生にお願い致しました。

新型コロナウイルスの影響が拡大してゆく昨今、梅光の同窓会総会も中止となり、残念でなりません。総会出席の方々に、ささやかな小冊子を差し上げたいと準備してようやく完成というところまで漕ぎつけたところでした。どのような内容か、この場をお借りしてご紹介させていただきます。タイトルは「梅花くすしく」。題字は梶間先生にお願い致しました。

記事の中で先生方のお名前に出会いました。島田裕子、北川透、村田喜代子、磯田光一、渡辺玄英、村中李衣、倉本昭、渡辺憲司、各先生方に読んで懐かしく、興味深く読ませていただきました。

この冊子作成に際して、編集、校正その他安富恵子先生に支えていただきました。特に第二章では『梅光女学院遠望』に対するコメント、佐藤泰正先生や向山義彦先生ご家族との思い出などを綴って下さり貴重な記録となりましたこと感謝でいっぱいでございます。忘れじの：などと古い言葉が思い浮かびますが、丸山校舎の竣工式、ステンドグラスへの思い：：お心に留めて下さればと思います。

以上、あらましを申し上げます。同窓会のご厚意で、冊子の内容はホームページに掲載していただくことになりました。ご高覧下さいませ。

第35回ソフトボール部OG会報告

幹事 海老沢 真弓 (高28)

令和の始まりの年に、第35回を迎えたソフト部OB会が10月5日(土)にシールドのレストランで開催されました。

高4の大先輩を筆頭に、三島先輩、梶間先生、片山先生、遠方から高橋(旧姓力丸)みどり先生も駆けつけて下さり、総勢22名の集まりとなりました。

幅広い年代の方が参加してくださいったおかげで、グロブのない時代に素手でボールを取っていたこと、顧問の先生宅での合宿で騒いで叱られたことなど、たくさんの思い出深いエピソードをお聞きすることができました。

また、持ち寄っていたいた卒業アルバムや思い出の品、スナップ写真などを



がきなどで行っておりすが、全員の方に差し上げることが予算の都合上困難です。今年はおちよつと参加してみようかなと思われの方、次回幹事にご一報を。あなたのご一報をお待ちしております。

次回幹事

長尾恵子(藤井) 高31
連絡先 090-7998-0492

支部だより

東京支部

2019年度梅光学院同窓会東京支部に参加して

西田 聖子(短英21)

梅光学院同窓会東京支部は、2019年6月15日に総会と懇親会が、東京ガーデンパレスで開催されました。当番幹事は、高36、短英21、短日20、大英18、大日18ですが、実際に活動ができたのは、短英21の私を含

めて3名だけでした。右も左も分らない私達を、東京支部の役員の方々が支えてくださいました。まずは、東京支部長の飯沼さんをはじめその他の幹事の方々に心からお礼を申し上げますと思います。ありがとうございます。

さて、今年の懇親会は、音楽を通じた絆をテーマに、梅光学院の中学、高校、短大、大学の同窓生で構成する弦楽アンサンブルと、今回のために結成した合唱団

(自由参加)で、ミニコンサート「Alis Luminis(光の翼)」を企画いたしました。

残念ながら、合唱の人数が予想していたほど集まらず、合唱アンサンブルという形に編成し直し、第一部は、合唱アンサンブルだけで下関にゆかりがある金子みすゞ作曲の2曲とその他1曲の合計3曲、第二部は、チェロとピアノのデュオ、第三部は、合唱アンサンブルと弦楽器の共演で、梅光の演奏会でよく披露されます、モーツァルト

作曲 Ave Verum Corups を歌う、

最後は、毎年梅光のクリスマス礼拝で歌われるヘンデル作曲「HALLELUJAH」を会場の皆様全員で歌いました。

不思議なもので、「HALLELUJAH」の前奏が流れると、今までテーブルにいらした同窓生の方々が自然とステージに足を運び、ハレルヤの歌詞が口から

ついてでる様子は、言葉では言い表せない感動と会場の一体感に包まれました。下関からお越しになっていた恩師が涙し、また、下関の地を離れて長くなる大先輩の方々が本当に生き生きと歌ってらっしゃる、そんな様子を見ながら、この企画をやってよかったと私は安堵したのと喜びで胸がいっぱいになりました。本当に会場が「音楽を通じて絆ができ、心が One Heart になった」瞬間でした。個々人、様々な思いがあるかと思いますが、その思いを少し横において、梅光の精神である、「光の子らしく歩きなさい」という原点に立ち返り、一人一人の心や思いを尊重し、温かい気持ちで相手を思いやり、皆様と共に一つになって歩んでくこととの大切さを確認できた同窓会でした。

最近では、想定外の状況が発生して、今まで平凡な日常だったのが、特別な日常に思えます。でも、どんなことがあっても梅光で培った「光の子」としての精神と少しの他人への心配り、そして、日常への感謝を忘れずに、これからも東京支部の方々、そして、母校へサポートさせていただければと考えています。





中部支部

女子会(OG会)

浅井 悦子(高10)

梅光学院同窓会中部支部は、二十六回をもって、六年前に閉会することになりました。

二十六年の間には、多くの同窓生との出会いがあり、数々の忘れられない思い出があります。同窓会には、毎年歴代の学院長、同窓会長が下関から遠路ご来名下さり、懐かしい母校の近況等、色々な話題で和やかに会を盛り上げて頂きました。

日頃は忘れかけていた梅光での尊い教育、学院生活の様々な思い出が蘇るひとときでもありました。改めてお礼と感謝を申し上げます。と思います。

同窓会の皆様には、支部存続にお力添えを頂き、二十六年の長きに亘り、お守りくださいましたのに、閉会に至りましたことは、本当に力及びませず、申し訳なく残念に思っています。

存続が危なくなった時、卒業生名簿の中から中部近郊に在住の方々をピックアップし、それぞれに手分けして、同窓会のご案内と入会のお願いをお電話しましたが、残念乍ら何の実りもなく徒労に終わってしまいました。会員を増やすことが、如何に難しいことかを思い知らされ残念に思いました。その後閉会への流れは、同窓生の高齢化、会員の減少、その他諸事情がありました。

閉会に当り、長年繋がってきたこのご縁を何等かの形で残したいという惜別の思いがあり、女子会(食事会)として継続することになりました。年に一度、九月の第二金曜日に六、七名の集りですが、梅光を軸として三十年余り、お互いに高齢になりましたが、和気藹々と楽しい交流が出来る幸せに感謝しています。近況の中には、色々と境遇の変化もあります。この集りで元気な姿に出会うことが、ひとつの喜びでもあります。

東京、下関に転居された

方々も、ご都合のよい時はご出席下さり、会が賑やかになり、嬉しい限りです。遠く離れている同窓生には下関から届く梅光の様々な変革の情報に、一喜一憂しながら、変わりゆく様子に戸惑うばかりでした。一番の驚きは、制服がブレザーに変更されたことです。セーラー服は梅光の百年余りの歴史の中で、高貴に培ってきた愛と希望の憧れの制服でした。

時代の要望とは云え、セーラー服で学んだ卒業生には、セーラー服と共に全ての思い出が消え去っていくような深い寂しさがありました。しかし乍ら、時代の急激な変化に、対応すべく梅光学院の未来永劫の存続を願うての改革の一部なのだと思知しています。

新しく変わりゆく梅光が、永遠に誇り高く発展していきますよう、心からお祈り申し上げます。

この度は、急遽女子会の報告依頼があり、不束乍ら女子会の近況を報告させて頂きました。

2019年下関支部の活動報告

〈初夏〉

2019年6月2日(日)

曜) 晴れ

下関支部初の糸島バスツアーを行いました。

2台のマイクロバスに総勢34名が乗車。長崎支部からもご参加下さり、日本一の売り上げを誇るJA『伊都彩葉』で地元産物のお買い物、2カ所の古民家レストランでランチをいただき、この企画を立ててくださった同窓生の運営する『いとしま応援プラザ』にてお買い物。最後に『ハーブガーデンプティール伊都国』を貸し切りにして、スイーツをいただきながら、同窓生のピアノの伴奏でハレルヤコーラス、校歌、賛美歌を歌い、祈りを捧げました。帰りのバスも居眠りをさる方は誰一人いらっしゃらず、楽しくお喋りをし、多世代の同窓生が楽しく交流することができました。

〈秋〉

9月29日(日曜) 晴れ

下関支部と『ふく旅庵下商会館』とのコラボイベント〈万葉ふくの界〉





歴史のある建物の、趣のあるお部屋のなかで、美しい河豚の創作ランチを20名で、アフタヌーンティーを10名で堪能いたしました。

〈クリスマス〉

12月15日(日曜)晴れ

広津先生 佐藤先生のお写真に見守られながら、下関市立近代先人顕彰館(田中絹代記念館)にて、心を一つにし、賛美歌を歌い、聖書を読み、祈りを捧げていました。そして厳選されたスイーツと紅茶を堪能し、温かい雰囲気の中で楽しいひと時を過ごす事が出来ました。

これらのおかげがえの無い思い出に、ご参加ご協力いただいた皆様にご心より感謝申し上げます。

世の中がどう変わろうとも、下関支部は今後も変化に対応出来る可変的で自由な支部として、同窓生の皆様のご心と心を繋ぐ活動や社会貢献ができればと思っております。

ます。

どうぞ皆様今後共にご参加ご協力を願ひ申し上げます。

『最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることができる者である。』ダイウイン

(支部役員 胡井)

北九州支部昼食会

2019年度の北九州支部昼食会は7月24日(水曜日)12時より、門司プレミアホテル(旧門司港ホテル)で開催しました。

生憎樋口学院長は公務の為御欠席で、本部より片山会長、磯谷副会長、浜谷前会長をお迎えし、総勢19名の集まりでした。

開会礼拝の後、同窓会会長から新体制の学院側とこれまで同窓会とのこじれた関係を何とか修復したいと、同窓会から学院側に対して要望書を提出するとお聞きし、北九州支部も賛同

することに致しました。

続く昼食と懇談の時に、北九州支部会の立ち会上げにご尽力下さった故力丸徳子姉(高8回卒)の神様に委ねられた闘病生活の様子をお聞きし、同級生の吉田潔子さんから一緒に東京までボイストレーニングを受けに行かれた力丸徳子さんのいつも明るく前向きに明るく生きられた在りし日のお話しをお聞きし、心を温く致しました。又読売カルチャーセンター他で書道の講師をしていらっしやる大塚順子姉(大10回卒)からは個展のお誘いや中国語での漢詩の朗読を披露して頂き、大変和やかな

会を持つことが出来ました。最後にこれまで4000円の会費を次年度からは4500円にさせて頂くことも全員ご了承頂き、再会をお約束し、校歌を歌って散会しました。

その後同窓会からの学院への要望書(1評議委員会に同窓会が推薦する委員を

加えて頂きたい。2同窓会で20年継続しているメモリアル礼拝を学院施設で実施させて頂きたい。)を、北九州支部からも代表者3名(40代、60代、70代)の署名で送りました。

2020年度の支部会は諸事情により残念ながら中止とさせて頂きます。

福岡支部

梅光学院同窓会福岡支部懇親会が2月8日ソラリア西鉄ホテルにて開催されました。

まず中田支部長より、開催までの経過報告があり、出席して下さった方々に会則をご承認頂きました。

片山宣子会長が下関から駆けつけて下さり、同窓会運営の現状やこれからの活動の展望などお聞きすることが出来ました。

各テーブルでは学生時代のお話に花が咲き、近況など語り合うと意外にも住まいが近くである事がわかったりと、同窓のご縁を温め、



集合写真



心強く広がりを感じました。最後は片山会長のご発声に合わせて「校歌」「いっくしみ深き」を斉唱し、次回は是非「ハレルヤ」を皆さんで歌えるよう企画をしたいと思います。

ソラリア西鉄ホテル様には心のこもった対応をして頂き、お料理も豪華で美味しく気持ちの良い時間を過ごすことが出来ました。

これからも梅光学院同窓



会福岡支部のご縁が繋がりが広がって活動が社会のお役に立つものになって行けば、との願いを込めて閉会致しました。

長崎支部だより2020

長崎支部長 森田美智子 (大9日)

桜の便りが終わり、時はもうすぐ皐月の「鯉のぼり」、そしてツツジとの美しい饗宴が目を楽しませてくれる季節となりました。

しかし、残念ながら今年年は「新型コロナウィルスの感染拡大」によって、日本中が、また世界中が、息を凝らし、苦しみながら自粛に励んでいるところです。まだまだ先行きの希望が見えない様子ですが、一日も早いコロナ収束を祈って頑張りましょう。

さて、長崎支部も立

ち上げから今年は3年目に入ります。支部の44名の会員の皆様との交流も定着してきた、今年は何か新しいことに挑戦しようかなという矢先、この状況です。まだまだ総会も開催できず、気をもんでいます。

ここで昨年度の活動を振り返り、長崎支部のご報告とさせて頂きます。

会務報告としましては、5月11日に、本部の総会に3名ほど出席させて頂きました。6月29日に、第2回



6月29日 第2回 長崎支部総会

目の支部総会を開催し、本部からも岩男晶子書記様にご出席いただき、とても有意義な総会ができたと思っ
ています。その折、片山会長様からのお言葉も読んでいただき、皆さんで梅光学院の現状を情報確認したところ

です。

その後役員会を開き、11月14日に支部通信「のぞみ1号」を発送できました。その間、本部からの調査で「要望書への署名」について

のお願いがありましたので、皆さんから早急に署名・アンケートを収集し、まとめて本部の方に送付いたしました。そのときの署名・アンケートの中から抜粋です

が

◆◆◆◆◆
・大学の発行誌だけでは実情が分かりませんでした
が、今回梅光の問題点がよく分かりました。卒業生を軽んじては大学の未来は厳しいでしょう。
・二つの要望については極基本的なことです。
・新しい大学が、全く別物では無く、より良い梅光

になりますように。

・時代の流れという一言で見守る立場であろうとは思いますが、大学・学院そのものに同窓会の志が
寄与していると考えます。
要望活動は必要です。

・二つの要望は、要望と言うに恥ずかしい、当たり前
前の要望です。
〈その他〉たくさんのお客様から貴重なご意見を頂きました。

◆◆◆◆◆
尚、支部長の私からも、失礼とは思いましたが、樋口紀子学院長様宛に、「長年地元下関で生き、梅光に誇りと愛着を持たれているたくさんの同窓会の皆様の存在を大事にして頂きたい」旨、お手紙を送りました。

〈6月29日 第2回 長崎支部総会〉
長崎は地理的に離島や僻地を多く持っており長崎市内に一同に会すると言うことが、非常に困難な状況です。その中でも、10名の方とゆっくり、懐かしく梅光の未来を語る時間が持て有り難く思っています。



関西支部設立に向けて

新緑の美しい季節となりました。

今年は新年の喜びも東の間、1月半ばから新型コロナウイルス感染症が広がり、日常生活が一変してしまいました。通りや公園から子どもたちの姿が消え、心待ちにしていた桜も窓越しのお花見に。仕事の外出もほとんどなくなり、パソコンを使った「リモートスタイル」を取り入れるなど、これまでとは違った日常を送りながら終息を願う日が続いています。

こうした状況ではありませんが、5月はじめに関西地区にお住まいの同窓生の方々に「関西支部」設立のご案内葉書を送らせていただきました。

関西支部の立ち上げについては昨年の夏、同窓会会長の片山先生からお話をいただき、同期の有志数名とともに準備を進めてまいりました。

現在、関西地区には500

余名の同窓生の方々がおられます。これまで京都、大阪、神戸等の各支部で尽力いただいた先輩方の活動を継承し、より一層の充実を図っていくために、今後はそれぞれの支部が力を合わせて「関西支部」として活動していくこととなりました。

予定していた総会・懇親会は残念ながら延期となりましたが、設立のご案内葉書をお送りしたところ

「葉書を見ました。ご苦勞さま。がんばってね」

「梅光もいろいろと変わったようですね。最近の学院の様子を知りたいです」「懐かしいわ。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています」

など、たくさんの方からお電話を頂戴しました。外出自粛や感染対策などで不安な日々が続く中、みなさまの心温まるメッセージに感謝するとともに、「同窓生」の絆の強さをあらためて感じました。

新型コロナウイルスが終息し、みなさまが安心して

集えるようになりましたら、第一回目の総会・懇親会の準備を進めます。同窓生のみなさまの笑顔にお会いできる日を世話人一同楽しみたくさんの方のご参加をお願いいたします。それまでも近況やご意見等ございましたら、ぜひお知らせください。

みなさまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

関西支部設立世話人代表
福田(滝本)信子(高33)

梅光学院同窓会関西支部 設立のご案内

新緑の候、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

このたび梅光学院同窓会は、地域支部として「関西支部」を設立する運びとなりました。これまで同窓会および母校の発展にご尽力いただいた関西地区の各支部の活動を継承発展させながら、より一層の活性化を図っていく所存でございます。なお、来月に第一回目の総会・懇親会を開催すべく準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑みて延期することにいたしました。今後の開催については改めてご案内させていただきます。

最後になりましたが、みなさまのご健康とご活躍を、心よりお祈り申し上げますと同時に、梅光学院同窓会のさらなる発展に向けてご支援ならびにご協力をお願い申し上げます。

二〇二〇年五月吉日

梅光学院同窓会 関西支部設立世話人代表

高33 福田 信子(旧姓 滝本)



同期会

高12回卒「喜寿」同期会

東京・関西・広島・四国・福岡からの再会にお互いを確認し合う光景は感動でした。晴天に恵まれた秋空のもと見慣れた関門橋が光輝いて見えました。葉を：種類も飲んでるよと自慢(?)げに話している



第12回卒喜寿同期会 2018.11.16 於 海峡ビュー下関

友、何と可愛いおばあちゃん達。

「あなたがたは以前には暗闇でしたが今は主に結ばれて光となっています。光の子として歩みなさい」と誰からともなくお祈りが始まり身心とも清しくなりました。

会の後、有志8人で長府へ紅葉狩りに出かけ歴史ある佇まいを満喫しました。毛利邸・毛利家菩提寺の功山寺周辺を散策したあと同地区在住の吉田順子さん宅での「お茶会」が楽しくて疲れも感じない良き一日でした。

翌日は12人である「元乃隅神社」へ行き、きつい階段を登り、入らないお賽銭箱、めがけ大はしゃぎ、大盛り上がり秋日を満喫し楽しい楽しい喜寿同期会の思い出でした。

今回は同窓会会長の片山宣子先生にご臨席頂き同じ目線でワイワイガヤガヤ：有難うございました。何とびっくり！片山先生は中尾美恵子さんの教え子さんだったとは：年齢の差を大

きく(笑)感じています。

この度は何と卒業後初対面の友あり、改めて梅光で学んだ倅せを噛みしめながらそれぞれの家路につきましました。みんな有難う！元気で今度は80歳で会おうね。

大澤 宣子(高12)

〈お詫び〉

51号に掲載すべきものでしたが、手違いにより52号になりました。お詫び申し上げます。

「同奏」会コンサート活動報告

有吉さやか(高20首)

私達は現在1、2年に1度のペースで「同奏」会コンサートと題し、音楽科20回卒業生有志による演奏会を続けています。コンサートの際に、梅光同窓会の後援を頂き、卒業後も励まして下さる先生方のお陰で、2019年8月、第7回目の「同奏」会コンサートが無事終えることができました。

ことの発端は2010年、SNSを通して再会した同級生たちが「今度、みんなで気軽に集まってお茶でも飲みながら演奏会ができたらいよね」という会話からスタート。初回の会場は門司の三井倶楽部。会場に音響スタッフさんがないことも知らず、慣れない機材を前に、マイクが使えないとオロオロしたり、観光客と同じお手洗いでドレスを着替えてびっくりされたりしましたが、想像以上にお客様がいらして下さり、久しぶりの演奏は大いに私達の刺激になりました。

第2回目からは会場を北九州芸術劇場に替え、子ども演奏の部も設け、順調な運び出しに思えました。しかし次回のコンサートに向け準備をしていた時、育児や仕事で忙しくなったメンバーの中から「ソロ演奏は遠慮したい」という声が多く上がったのです。このままではいつかコンサート自体が出来なくなってしまうかもしれないと危惧した仲間が発案が、誰もが負担な

く参加できるアンサンブルのステージでした。そこで第3回目のコンサートでは全員で「動物の謝肉祭」を演奏。このステージが大変好評だったのがきっかけで、「同奏」会コンサートは全員でアンサンブルがひとつの目玉となりました。

2020年は「同奏」会立ち上げ10周年。1人でも多くのメンバーが集まれる日に演奏会を行う事、そして「気軽に参加できる」というコンセプトを徹底し、ソロに限らず全員演奏のステージだけでも参加できるようにしている事が、これまで続けて来られた秘訣ではないかと思えます。遠方からのメンバーは当日、数分しか取れないリハーサルで全体の動きや立ち位置等の確認をすることになりませんが、高校生の頃は「ⅢMファミリ」と呼ばれた私達。担任の橋本るつ子先生指揮のもと、クラスが家族のように団結して頑張る力は今でも健在。色々あって

もなぜか本番は気持ちよく合わせることが出来ていま



す。その緊張感、達成感がまた楽しく、次回へのエネルギーに繋がっているのです。

2017年、2019年の演奏会では会場を下関の生涯学習プラザに移し、無謀にも2台ピアノに挑戦。ソロや連弾とはまた違ったアンサンブルの魅力を発見しました。次回のコンサートは少し間が開きますが2021年の夏の夏の開催(日程、会場は未定)を予定しております。

初回の頃、子どもの部でママと連弾を披露していた幼い子ども達が、今は楽譜のセッティングや受付、写真撮影等を手伝ってくれ、その成長ぶりも楽しみです。これからも私達ⅢMらしく、それぞれのスタイルで、音楽の楽しさを伝えられる演奏会ができたらと思っております。同期の連絡もお待ちしております。どうぞ今後とも、応援を宜しくお願い致します。

支部を立ち上げてみませんか♪

梅光の卒業生は、北海道から沖縄までは言うまでもなく、今や世界中で暮らしています。一昨年には長崎支部が、昨年は福岡支部が立ち上がりました。そして今年は関西支部が活動し始めます。

まずはご自分の暮らしている地域の同窓生で集ってみませんか。最初は4,5人でお茶を飲みながらの楽しいお喋りの集いから始めてみたらどうでしょうか。かつて青春時代を梅光で過ごした者同士、年齢を超えての懐かしい昔話や地域の情報交換に話が弾むのではないのでしょうか。

その小さな輪の繋がりが広がって支部として活動がスタートします。

支部の立ち上げが決まれば、同窓会本部から設立準備の為の補助金を支給致します。

あなたの近くに住む卒業生についてのご相談は、本部に問い合わせ下さい。

集まれ！梅光生！語り合いましょ！！

梅光学院同窓会 支部

東京支部	飯沼(山村) 菜保美	高21
関西支部	福田(滝本) 信子	高33
広島支部	名越(森川) 光枝	大12日
下関支部	大上(西村) 純子	高33・旧職
豊北支部	藤岡(藤岡) 咲枝	高14
北九州支部	森田(岡崎) 朋子	高11
福岡支部	中田 早苗	高28
長崎支部	森田(久原) 美智子	大9日
海峡会	柴田 稔	大44英・院前英

各支部の連絡先は本部へお問い合わせ下さい。






令和元(2019)年度会計報告

科 目	2019年度予算	2019年度決算	差 異
収入の部			
終身会費取崩し 繰入収入	8,509,000	2,820,103	-5,688,897
入会金	760,000	72,000	-688,000
総会懇親会会費	525,000	494,500	-30,500
受取利息	136,000	136,093	93
施設利用料	10,000	0	-10,000
運営費収入	3,000,000	3,189,000	189,000
雑収入	100,000	48,100	-51,900
収入計	13,040,000	6,759,796	-6,280,204
支出の部			
事務費	500,000	249,275	-250,725
事務手当費	1,700,000	1,564,955	-135,045
旅費	200,000	125,600	-74,400
通信費	2,000,000	1,528,027	-471,973
印刷費	6,000,000	2,133,366	-3,866,634
行事・集会費	1,500,000	664,502	-835,498
交際慶弔費	200,000	154,659	-45,341
雑費	70,000	7,949	-62,051
光熱水費	70,000	49,463	-20,537
教育支援寄附金	500,000	0	-500,000
支部支援金	300,000	100,000	-200,000
グッズ製作費	0	182,000	182,000
支出計	13,040,000	6,759,796	-6,262,204

貸借対照表

現金	500,333	終身会費	82,806,080
預金	89,840,101	終身会費引当積立金	7,534,354
	90,340,434		90,340,434

上記令和元(2019)年度決算及び貸借対照表の会計報告に関して帳簿・証憑書類等を監査致しました。記載事項は事実に基づいており適正であることを認めます。

同窓会監査人 梅尾澄枝 



* 2019年度(平成31・令和元年度)行事報告 *

2019年

- 4月13日 役員会
 4月19日 会計監査 梅尾澄枝
 5月11日 同窓会総会 [シーモールパレス] 10:30~15:00
 (1)総会・礼拝・審議
 (2)懇親会 中・高ミュージカル部OGによるミュージカルコール梅光コーラス、軽食・懇談
 5月18日 役員会
 6月2日 下関支部「交流バスツアー 福岡県糸島市」 ¥7,500 34名参加
 6月15日 役員会 (荒天のため中止)
 6月15日 東京支部総会 [ガーデンパレス](磯谷出席)56名参加
 6月29日 長崎支部総会 [セントヒル長崎](岩男出席)10名参加
 6月28日 梅光誌51号発行
 7月4日 第19回梅光メモリアルデー 14:30~15:30 [宙のホール] 80名参加
 (1)礼拝と賛美・講話 梶間眞寿美(高7)
 (2)コール梅光 合唱
 7月20日 役員会
 7月24日 北九州支部会昼食会 [門司港ホテル] (片山、磯谷、浜谷 出席)
 8月24日 役員会
 9月21日 役員会
 9月29日 下関支部「万葉ふくの界」 下商会館 ランチ(12:00) 20名参加
 アフタヌーンティー(14:00) 10名参加
 10月19日 役員会
 11月1日 私学同窓会(キリスト教同盟、近隣)への同窓会についてのアンケート発送 213通
 11月16日 役員会
 12月3日 80歳(高10)以上の方へクリスマスカード発送 1,206通 (内、海外4通)
 12月7日 コール梅光クリスマス礼拝・チャリティーコンサート [下関市民会館中ホール]
 12月15日 下関支部クリスマス会 [下関市立近代先人顕彰館] 30名参加
 12月21日 役員会

2020年

- 1月18日 役員会
 2月8日 福岡支部会 (11:30~) [ソラリアホテル] (片山出席) 16名参加
 2月15日 役員会
 3月21日 役員会
 3月 *新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中・高・大学の卒業式は簡素化。
 同窓会からは出席なし。
 それぞれに例年通り卒業記念品を贈った。

						2019年度 運営費寄付者名		単位千円
高2	岡田佳津(原田)	3	梅27	鈴木澄子(中野)	3	旧職	宮本幸治	3
高2	小須田玲子(藤津)	6	梅29	古賀達子(古賀)	3	旧職	清末義和	3
高3	上垣内照子(上垣内)	3	梅29	伊藤次子(武下)	3	旧職	小山禎子	3
高3	安田美智子(平野)	3	梅31B	阿部敬子(富田)	3	旧職	中野節子	3
高3	高橋暢子(弘瀬)	3	梅31B	小坂幸子(野上)	3	旧職	中山 敦	3
高4	村上睦子(上田)	3	梅34	福田百合子(山本)	3	旧職	白澤弘子	3
高4	山木重子(山木)	3	梅35	小田和子 故(竹中)	30	旧職	平野 清	3
高5	三代 緑(一色)	3	中1	河村孝子(井本)	3	旧職	橋本るつ子	6
高5	北村勝代(大浜)	3	中1	古市みつ子(西田)	3	旧職	菊地 昇	3
高5	久木田紀子(久木田)	3	中2	植田千鶴子(木原)	3	旧職	安富恵子	3
高5	重中芙蓉子(重中)	3	中4	山名しづか(樽見)	3	梅23	清水公子(伊藤)	3
高5	平良美代(平良)	100	高2	大社淑子(大社)	3	梅24	長谷川裕子(平山)	3
						旧職	河田 修	3
						旧職	栗原千鶴	3
						旧職	卷幡清子	3
						旧職	斎藤直而	3
						旧職	白澤千枝子	3
						合計	3,189,000円	

2019.4.1~2020.3.31までの受付
 ご支援を感謝します。



大英9	亀井由美子(磯部)	3	短英6	手島千恵子	3	高19	森本洋子	3	高5	永露道子(横井)	10
大10日	江藤京子(伊藤)	15	短日6	福永芳枝	3	高20	名切都子(荒川)	3	高6	灘邊祥子(石井)	3
大10日	若山邦美(榎)	3	短英7	古屋真理子(長富)	3	高20	大久保礼子(児玉)	3	高6	植田愛子	3
大10日	財津理津子(吉川)	3	短英8	川端佳子(梅田)	3	高20	安成百合子(竹田)	6	高6	四本洋子(小川)	3
大10英	井上容子	10	短英8	濱 祐子(瀬戸崎)	3	高20	藤木照子(和田)	3	高6	正井満里子(坂川)	6
大11英	龍崎美香(龍崎)	5	短日8	檜崎美佐子(松本)	3	高21	金沢寿栄子(富下)	3	高6	浜田陽子(豊田)	3
大12日	植田裕子	3	短日8	幡吉眞弓(森川)	3	高21	飯沼菜保美(山村)	30	高6	大和明美(中尾)	9
大12英	赤瀬祐子	3	短日8	宮崎悦子(渡辺)	3	高23	中尾和子	3	高6	奥田美沙子(久野)	3
大13日	三浦美香子(武石)	3	短英9	林 加代子	3	高24	村田小夜子(今橋)	3	高6	山本寿美江(山村)	3
大13日	宮田史子(原)	3	短英9	榎野裕子	3	高24	城一道子	3	高7	斉木洋子(岡崎)	3
大14日	紺屋はるみ(徳永)	9	短日10	藤田良子(大窄)	3	高24	林田真美子(横尾)	3	高7	中野由己子(高橋)	3
大15日	中嶋まどか(二田水)	3	短日10	松田静子(川村)	3	高25	林 和江	10	高7	田中彰子(長谷川)	3
大15英	田中文代(寺田)	3	短英11	岩松啓子(森)	3	高25	吉田眞子(藤田)	9	高7	曾田邦子(馬場)	3
大16日	植月明美(山下)	3	短英12	森 玲子(吉井)	3	高27	佐伯寿代子	3	高8	松本節子(鳥居)	3
大16日	小川滋子(山本)	3	短日12	五輪喜久子	3	高27	鈴木智子(柳井)	3	高8	長谷川美津枝(長谷川)	3
大16日	土河美枝子(吉本)	10	短日13	田中恵美子(田中)	3	高27	横田のぞみ(山中)	3	高8	石橋昌子(福原)	3
大18日	野田和代	3	短日14	江戸富美枝(正野崎)	3	高27音	村山紀子(小木)	3	高8	久保英子(村上)	3
大18語	江後紀久子	3	短日15	谷田ゆかり(長岡)	6	高28	森田智代江(二宮)	9	高8	福田佳子(物部)	3
大18語	河野行子(藤田)	3	短日16	藤井靖子(谷藤)	3	高29	佐藤久美(林)	3	高9	住田育枝(綱木)	3
大19語	畠中由紀(伊藤)	3	短日16	樽本久美(藤原)	3	高29	宮本まり子(山本)	3	高9	小園美智子(池田)	3
大21日	森田敦子	3	短英17	白石みゆき(児倉)	3	高29音	桃崎元美	3	高9	安藤清子(菊谷)	3
大21英	大串厚子(野中)	3	短英20	井上悦子	3	高30	上垣内和子(上垣内(松井)	3	高9	田中浩子(倉田)	3
大22日	秋山和代(酒見)	9	短英21	西田聖子	3	高30音	明田恵美(四方田)	3	高9	日置恵子(高橋)	5
大22日	田中裕子	3	短日21	田中志穂(故)	30	高32	岩男晶子(鍋島)	6	高9	松岡郁子(田原)	3
大22日	田中純子(松田)	3	短日24	三ツ川由香(元田)	3	高33	匿名希望	3	高9	谷 禎子(西村)	9
大23語	野口 紋(田中)	3	短日25	岩永真由美	6	高33	木村裕子(清水)	3	高9	宮原克子(宮原)	3
大25英	中尾香代子	3	短日25	塚本弘美(田中)	3	高33	北村由美子(吉原)	6	高10	伊田美智子	3
大26日	塩川佳恵(松永)	3	短日26	今道裕美	3	高33	長谷川奈津江(盧)	3	高10	市河純恵	3
大28日	鷹野 恵(久木元)	3	短英28	佐々木理子(石川)	3	高36	武嶋圭子(品川)	3	高10	藤井信子(鈴木)	3
大40英	道山 新 *	3	短英29	小野佳子(江藤)	3	高37	篠原素子	3	高10	長谷川久子(田中)	5
大40子	三隅泰乃	3	短日29	野中知子	3	高38	稲岡昭子(黒瀬)	3	高10	島谷幸子(豊田)	3
大49子	平原朋機*	3	短日30	高橋友子(三ヶ尻)	3	高40	山中弘子(安部)	3	高10	中川泰子(中川)	3
院前日2	澤田雅子(北村)	3	短英31	井上佳子(故)	10	高41	波多野容子(大司)	3	高10	浜谷静枝	50
院前英2	横山 東	3	短日35	宮村公子	3	高41	櫻井敬子	3	高11	林 家代(亀田)	3
院前日3	林田千恵子(蔦)	3	短コ2日	中村容子	3	高42音	神田希美代(有松)	3	高11	堀内紀代子(立石)	3
院前日5	大塚順子(木下)	3	短コ2日	横田貴子(濱田)	9	高43	植田みどり(梶間)	6	高11	渡辺紀子(山崎)	3
院前日10	澤山淑子	3	短コ3日	高取萬智子	3	高50	佐々木千歳	3	高12	宮本佑子(山崎)	3
院前日15	久保田智栄子(今井)	3	短コ4日	大澤宣子(高橋)	6	高57	松本由希	3	高13	青木礼子(青木)	3
院前英21	山口明子	3	大1日	梅尾澄枝(秋本)	3	高60	安富 遥	3	高13	叶屋睦子(片村)	9
			大1日	片山宣子(清川)	20	高66	矢野佑紀	3	高14	山下雅子(奥田)	3
			大1日	中村百合子(中村)	6	短英1	野村佐登美(郷)	6	高14	伊之坂潤子(亀甲)	10
			大1日	森本美佐子(西崎)	3	短英1	阪本和子	3	高14	白須美沙子	10
			大1英	宝辺静子(久保)	3	短英1	高橋みどり(力丸)	3	高14	岡崎郁子(西川)	3
			大2日	堀田敏子(河野)	3	短日1	藤井久美子(木川)	3	高14	田中安子(吉本)	3
			大3英	山本洋子(湊)	3	短日1	谷川百枝(山本)	3	高15	山口美紗子(今村)	3
			大4英	篠塚玲子(寺井)	3	短英2	小原政子	3	高15	田中洋子(岩崎)	3
			大5英	大塚マリ子(東野)	3	短日2	畠中節子(中島)	6	高15	大田登久子(榊)	3
			大6日	平川典子(神峯)	3	短日3	松村和代(堀江)	10	高15	浴本泰子(藤山)	3
			大6英	郡司島節子(立岩)	3	短英4	藤原美津子(平)	3	高15	大津恭子 故(松下)	2000
			大7英	香月順子	50	短英4	福田裕子(中村)	9	高15	有富洋子(村上)	9
			大7英	磯谷由美(林)	10	短英4	大野美加子(益森)	3	高16	小林素子(市河)	3
			大英8	大本美智子(江崎)	3	短日4	西村佳代(川村)	3	高16	竹中淳子(大西)	6
			大日9	富田栄子(國米)	6	短日5	大西恵子	3	高17	平井久子	3

卒業生総数	
梅ヶ崎	150
光城	80
梅光(旧制)	2,413
高・中	13,697
短大	13,996
大学・大学院	9,809
計	40,145
2020.3.31 現在	



2021(令和3)年度



同窓会総会ご案内

6/19 (土)

会場:シーモールパレス**会費:** 懇親会費含む **4,500円****総会のみ(豊)** **500円**

※総会のみの方は当日受付にてお支払い下さい。

たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

総会・懇親会にご出席の方は、会誌に同封の振込用紙(今年より振込料が発生します)でお申し込み下さい。総会のみご出席の方は、当日受付にて会費をお支払い下さい。振込用紙紛失の場合は郵便局で[下関13100番]の口座に振り込んで下さい。

受付 10:00~**開会 10:30~****申込
方法****6月1日(火)まで**振込用紙・電話・メール・はがき
にて同窓会事務局に申し込む

火・金曜日 13時~16時在室

プログラム

10:30~12:30

(1) 総会「ダイヤモンドの間」

●礼拝 ●審議

13:00~15:00

(2) 懇親会「エメラルドの間」

●軽食・懇談

ゆっくりお食事しながら、同級生・同窓生と旧交を温めましょう。

当番幹事 当番幹事さんについては今回幹事の方にご連絡致します。

2021年度予定

第20回 梅光メモリアルデイ

日時 2021年**7月4日**(日)

午後の予定

場所 未定

決定次第HPでお知らせします。

●礼拝

●佐藤泰正先生DVD視聴

●河田哲先生著「むねあかどり」朗読

●コール梅光合唱

梅光学院同窓会事務局下関市向洋町1-1-1/TEL(083)227-1111
E-mail: jimukyoku@baiko-dousoukai.jp